

# SBL 通信

第10号



2022年6月発行 仙台市危機管理局減災推進課



## 「福島県沖を震源とする地震」の被害から考える **本当に必要な地震対策**



令和4年3月16日23時36分、福島県沖を震源とするマグニチュード7.4(暫定値)、最大震度6強の地震がありました。宮城県や福島県を中心に全国で死者4名(災害関連死1名を含む)、245名の負傷者が発生(※)しました。震度5強を観測した仙台市では47名の方が救急搬送されましたが、この他にも、さらに多くの方が負傷していると考えられます。

(※)「福島県沖を震源とする地震による被害及び消防機関等の対応状況(第21報)」(令和4年4月19日)より

この47名はどのような状況で負傷したのでしょうか。平日深夜の地震とのこともあり、ほとんどの方が**自宅で被害に遭われています**。

**家の中にいて何故、負傷してしまったのか**。原因を探りその対策をとることが、今後の地震による負傷を防ぐ近道になるはずです。

今回は福島県沖の地震での負傷原因と、そこから見える**本当に必要な地震対策**をご紹介します。

### 発災時、どのような負傷原因があるのか？

#### 負傷原因① 「家具の転倒・落下物」

棚が倒れる、壁掛け時計が落ちてくるなど、就寝中の方も多く原因のトップです。身動きがとれず、30時間後に救出された方もいます。タンスを押さえて上から物が降ってきた、食器棚を押さえてガラスで手を切る、テレビと一緒にひっくり返るなど、**家具を押さえる行動での負傷が多いのも特徴です**。

#### 負傷原因② 「転倒」

次いで多いのが転んで負傷した方。階段からの転落も含め、地震時に転倒による負傷者が急増するのは、**揺れている間に移動することが大きな要因です**。

#### 負傷原因③ 「外に飛び出す」

地震が起きると、急いで外に出ようとする人が多いようです。外に出てその場所に落ちてきた外壁、倒れてきた石灯籠などで負傷しています。

#### 負傷原因④ 「揺れが収まった、そのあとも！」

停電した地域もありました。暗く散らかった部屋の中で頭をぶついたり、ガラスを踏んだり、また片付け中の負傷者も見られます。



### けがを防ぐ。そのために必要な備え

#### 対策① 「揺れている間は身を守るのみ」

「揺れた瞬間とるべき行動は？」クイズの正答率は99%以上かもしれないのですが現実には……。地震時の行動は「**まず低く・頭を守り・動かない**」。同封のシェイクアウト訓練に参加して、再度確認しましょう。

#### 対策② 「家具等の固定・模様替え」

すぐに身を守るには難しいのが就寝中です。寝床に倒れる・落ちる物がないように、まずは配置を工夫。移動できない場合には固定を。就寝場所に次いで避難経路(ドア前や廊下など)、キッチン、居室と対策を。押さえたくなる家具や家電は固定して、安心して(!?)身を守ることに集中しましょう。

#### 対策③ 「枕元への備え」

地震後は停電、また避難が必要になる可能性もあります。就寝時、枕元に懐中電灯と運動靴、ラジオや携帯電話、眼鏡、笛、軍手など、地震後の行動への備えも重要です。

**揺れが収まるまで身を守ること、けがを防ぐために備えることが、今回の被害から改めて言える、最も重要な地震対策です**。今後のSBL活動に活かしてください。(仙台市防災・減災アドバイザー 折腹 久直)

災害時専門ボランティアとは、障害のある方のニーズに対応できる人的支援の確保を目的に各種専門ボランティアの方々が登録をしています。市域で大規模災害が発生した際、活動を要請する仕組みになっています。

東日本大震災の時には、平時の活動を休止することなく、震災直後から障害者の情報支援や移動支援などの活動を行いました。

専門ボランティア	大規模災害発生時の活動内容
点訳奉仕員 朗読奉仕員	避難所等における視覚障害者に対する情報提供など
運転ボランティア	リフト付自動車を利用した車いす使用者の避難所間の移送など
手話奉仕員、手話通訳者 要約筆記奉仕員、要約筆記通訳者	避難所等における聴覚障害者に対する情報提供など
ガイドヘルパー	視覚障害者や全身性障害者（脳性麻痺など）に対する避難所等への移動同行支援

※制度詳細については、社会福祉法人仙台市障害者福祉協会（電話：266-0294 FAX：266-0292）までお問い合わせください。

## SBLの活動報告より

### 3月16日の地震での活動

SBLの方々から地震対応に関する活動報告を16件いただきましたので、その中の3件をご紹介します。

#### 六郷地区のSBL

遠方の宿泊先の温泉から津波避難ビルに駆けつけて、避難者の支援活動を行った。

#### 岩切地区のSBL

岩切小学校で避難者の対応に当たっていたが、停電により避難者を岩切中学校に誘導して、避難所の支援活動を行った。

#### 八幡地区SBL連絡協議会

3月19日の定例会で、SBLの活動及び地域の被害状況報告を行い、情報の共有と今後の活動の向上を図った。



「本番は訓練のごとし」と言われますが、今回まさにそれが生きていますね！

災害VRによる  
体験プログラムを  
導入します！！



これまで19年間にわたり運用した、地震体験車「ぐらら」の後継事業として、**災害VR**を導入します。

申込み方法やお問合せ先については、SBLバックアップ講習会などを通じて、あらためてお知らせいたしますので、地域における防災訓練や研修会の際にご利用ください！

## お知らせ

### ○仙台市シェイクアウト訓練

**と き** 6月10日（金）9時45分から

**と ころ** 家庭・学校・職場などで各自行ってください

※訓練にご参加いただく際は参加登録をお願いします  
詳細は同封のチラシをご覧ください



### ○全市バックアップ講習会の開催について

**と き** 7月13日(水)・15日(金)・16日(土)

(同じ内容で午前と午後の2回、計6回開催)

**と ころ** 仙台市消防局7階講堂

※講習会は新型コロナウイルスの対策を講じて実施  
※詳細は同封の案内文書をご覧ください。(SBLの方  
のみに同封しております)

## ～編集後記～



皆様のおかげでSBL通信も『10号』となりました。感謝申し上げます。活動報告等の情報を待っております。北海道で痛ましい海難事故が発生しました。地震等の災害も同じ『起きると思えば備えをするか、しないか』です。しかし、結果は全く違います。【人命が第一】です。これからも備えを抜きたくありません。(京)

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号 仙台市役所本庁舎2階 仙台市危機管理局減災推進課

TEL 022-214-3109(直通) FAX 022-214-8096 Eメールアドレス：kks000130@city.sendai.jp

掲載してほしい情報や活動などがあいましたら、是非ご連絡ください！ 活動報告やご意見・ご相談もお待ちしております！！